

編集後記

プラズマ・核融合学会の編集委員を担当させて頂き、早いもので二年が経ちました。今回の企画は2次元回転系上の乱流における大規模構造形成について取り上げましたが、私自身の理解を深めるという意味でも非常に良い経験でした。

さて、私はイタリア出身なのですが、日本人が意外に知らないイタリアでの食事のルールがあります。日本ではパスタの種類に関わらず粉チーズが出てくるのが一般的ですが、イタリアでは魚介系のパスタに粉チーズをかけるのはタブーとされています。これは魚介系パスタの繊細な味が粉チーズによって失われてしまうからです。魚介系パスタに粉チーズをかける行為は、このパスタ美味しくないと言っているようなものなのです。私が日本に来たばかりの時に友人がアサリのパスタにチーズをかけて食べたときには驚きました。

一方、逆のパターンも当然あり、わたしのイタリアの友人はごはんには醤油を直接かけたりワサビを単体で食べたりと日本ではタブーになっていることを疑問に思わず

にやります。かくいう私も日本に住んで10年になりますが、食事に箸を刺す行為がマナー違反だということを数年前に知りました。海外のマナーをしっかりと把握するというのは難しいものです。

この編集後記を書いている今、街中はクリスマスモード一色です。日本のクリスマスの食事と言えばチキンと苺のショートケーキが定番ですが、イタリアではパンドーロというパンをよく食べます。パンドーロとは、イタリア語で黄金のパンという意味で、卵とバターがふんだんに使われた甘いスポンジケーキのようなパンです。毎年クリスマス前2週間ほどは朝食やおやつにパンドーロを食べていたので、わたしはパンドーロを食べると子ども時代のクリスマスを思い出します。ちなみに、もともと甘いパンに粉砂糖を振りかけて食べるのでそのままでも十分甘いのですが、イタリア人はそこにさらにチョコレートペーストを塗ります。日本人の妻の前でチョコレートペーストをつけて食べるとうすぎるのではないかと問われますが、これが美味しいのです。(佐藤直木)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長：竹入康彦	副 会 長：上田良夫 (研究部会連絡会委員長)	米田仁紀 (推薦委員長：研究助成, 男女共同参画委員長)
常務理事：市口勝治 (総務委員長)		
理 事：渥美寿雄 出射 浩 (編集委員長)	井 通 暁 大勢持光一 (財務委員長)	
大原 渡 金子俊郎	村上 泉 横峯健彦 (年会運営委員長)	
木戸修一 兒玉了祐 (企画展示検討委員長)	白藤 立 (企画委員長) 花田磨砂也 (推薦委員長：学会賞)	
林 伸彦 (広報委員長) 藤田隆明	渡邊隆行 (支部・地区研究連絡会委員長)	
監 事：立松芳典 前田達志		

プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 井 通暁(東大) 応 用 渡邊隆行(九大) 核融合プラズマ 藤田隆明(名大) 核融合炉工学 上田良夫(阪大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：出射 浩(九大) 副委員長：村上 泉(核融合研)
エディタ：古閑一憲(九大), 比村治彦(京都工繊大), 波多野雄治(富山大), 重森啓介(阪大), 藤田隆明(名大), 村上定義(京大)
編集委員：安部勇輝(阪大), 諫山翔伍(九大), 市原大輔(名大), 井戸 毅(九大), 占部継一郎(京大), 枝尾祐希(量研), 大宅 諒(九大), 勝川行雄(国立天文台), 川手朋子(核融合研), 佐久間一行(弓削商船高専), 佐々木渉太(東北大), 佐藤直木(東大), 神藤勝啓(原子力機構), 鈴木陽香(名大), 關 良輔(核融合研), 高橋宏幸(東北大), 竹崎太智(富山大), 田中 学(九大), 辻井直人(東大), 中村 誠(釧路高専), 畑 昌育(量研), 福本正勝(量研), 藤原 大(UCI), 前山伸也(名大), 森田大樹(宇都宮大), 矢嶋美幸(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第99巻第2号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2023年(令和5年)2月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。